

各県薬剤師会・各県病院薬剤師会 各位

平成 29 年 12 月 1 日

第 8 回東北地区褥瘡サミット開催のご案内 (第 51 回褥瘡サミット)

宮城県薬剤師会会長 佐々木孝雄
宮城県病院薬剤師会会長 石澤 文章
NPO 法人褥瘡サミット代表 古田 勝経

謹啓、貴会の益々のご隆盛をお喜び申し上げます。

さて、この度「第 8 回東北地区褥瘡治療薬サミット」を宮城県薬剤師会、宮城県病院薬剤師会、NPO 法人褥瘡サミットとの共催で平成 30 年 1 月 27 日（土）、28 日（日）の両日東北医科薬科大学にて開催する運びとなりました。

本サミットの仙台での開催は 8 回目となり、東北各県にも参加を呼び掛けています。

第 3 回目からは 1 日目講演に続き、2 日目実習の形式で実施してまいりました。

チーム医療や在宅が重要な施策となる中、薬剤師の責任ある役割も大きく変わろうとしています。その中で、褥瘡への薬剤師の関わりは多職種間連携の中でも指導、教育を含め薬剤師業務の一つの大きな柱になると思われまます。

本サミットは、日本全国で開催されており、厚生労働省も薬剤師業務の一つとして注目しています。

つきましては、案内状を同封いたしましたので、ご多忙のところ申し訳ありませんが、開催の趣旨をご理解の上、貴会の多数の会員にご参加いただけますよう周知方お願いいたします。

謹白

連絡先

宮城県薬剤師会事務局 FAX022-391-6640

E-mail info@mypha.or.jp

第 8 回東北地区褥瘡治療薬サミット開催のご案内 (第 51 回褥瘡サミット)

宮城県薬剤師会会長	佐々木孝雄
宮城県病院薬剤師会会長	石澤 文章
NPO 法人褥瘡サミット代表	古田 勝経

褥瘡につきましては、適切な外用薬の使用により重度の褥瘡も治癒が見込まれるようになりました。しかし、適切な薬物治療法は、褥瘡治療の経験によって細々と受け継がれているのが現状であり、標準的な治療法となっておらず、依然として多くの褥瘡患者が苦悩から解放されていない現実があります。東北地方は、早くからこの重要性に着目し、NPO 法人褥瘡サミットと三者共催で褥瘡治療薬サミットを過去 7 回開催してまいりました。サミットは、2 日間にわたり、1 日目は講演・症例発表を中心とし、2 日目は褥瘡処置を中心とした実習（要申込み）を企画しています。

ご多忙中とは存じますが、褥瘡の基礎から臨床まで幅広く学べる機会と思いますので多数の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、1 日目の講義につきましては、薬剤師会未入会の方は 1,000 円、2 日目の実習につきましては、40 名の定員で、実費として 4,000 円を徴収予定です。参加希望の先生方は、メールまたは別紙申込書にて FAX で申し込みください。参加費は、当日現地で徴収いたします。また、登録済みの折り返し連絡もしますので、必ず連絡先を明記して下さい。

また、1 日目終了後懇親会を開催する予定です。こちらも参加希望の方は申込書に記載してください。参加費（5,000 円位）については当日徴収いたします。

事務局及び連絡先 **宮城県薬剤師会事務局 FAX022-391-6640**
E-mail info@mypha.or.jp

第8回 東北地区褥瘡サミット

(第51回褥瘡サミット)

師走の候、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

このたび、標記研修会を下記の通り開催する運びとなりました。愛知県では褥瘡治療での薬薬薬連携が活発に行われ、その取組みは本サミットを全国各地で開催することで広がっており、厚労省も注目しております。宮城県では8回目の開催となります。第3回からは実習も取り入れ、宮城県内の病院、保険薬局はもとより、東北6県の薬剤師会、病院薬剤師会にも呼びかけ参加をいただいております。参加者の皆様からは褥瘡の知識が、薬剤師の業務拡充の手段として有用であると評価もいただいております。褥瘡に対する基本的な考え方、治療などを根本から学べる機会と思われま。

是非多数の皆様のご参加をお願い致します。

記

日時 : 第1日目 平成30年1月27日(土) 午後1時～午後5時10分(受付12時～)
第2日目 平成30年1月28日(日) 午前9時30分～午後12時40分
会場 : 東北医科薬科大学 中央棟2F 2B講義室(1日目)、薬理系実習室(2日目)
仙台市青葉区小松島4-4-1 TEL:022-234-4181

『プログラム』

第1日目 司会:宮城県病院薬剤師会生涯教育委員長 菅野和彦

◇開会挨拶(13:00～13:05) 宮城県薬剤師会会長 佐々木孝雄先生

◇学術講演(13:05～14:35) 座長:宮城県病院薬剤師会副会長 尾形勉先生

「褥瘡の病態と薬物療法」 コバヤシヘルスケアシステム 医療法人愛生館 小林記念病院
褥瘡ケアセンター長 古田勝経先生

(休憩)10分

◇教育講演(14:45～15:15) 座長:宮城県病院薬剤師会副会長 尾形勉先生

「褥瘡の見方・考え方～創にあった治療薬の選択から処方解析、処方提案に向けて～」

オーガナイザー:古田勝経先生

(休憩)10分

◇症例検討「処方写真から診る創評価のポイント・治療薬提案の実際」(15:15～15:50)

症例提示・コメント:古田勝経先生、東北労災病院薬剤部・庄司理恵先生

(休憩)10分

◇活動報告「病院・調剤薬局における褥瘡治療の関り」(16:00～17:00)

コメンテーター:古田勝経先生

報告者(病院薬局):山形市立病院済生館薬局 後藤純一先生

報告者(調剤薬局):一般社団法人あおもり健康企画 大野あけぼの薬局 舛甚路子先生

◇閉会の挨拶(17:05) 宮城県病院薬剤師会会長 石澤文章先生

第2日目

◆褥瘡治療薬の使い方・処置実習(9:30～12:40)

※ 日病薬病院薬学認定薬剤師研修認定 1日目:学術講演(V-2:1単位)、教育講演・症例検討・活動報告(III-1:1単位)、2日目:(III-1:2単位)申請中、日本薬剤師会研修センター研修認定(2単位)

※ 共催:(一社)宮城県薬剤師会 宮城県病院薬剤師会 NPO法人褥瘡サミット 科研製薬㈱

申込方法:実習のみ必要(別紙)

褥瘡治療薬の使い方・実務実習

日時：平成30年1月28日（日）午前9時30分～午後12時40分

会場：東北医科薬科大学 薬理系実習室

参加費：4,000円

内容：別紙予定表に従い、褥瘡モデルを用いたグループ実習を開催します。

浅い褥瘡や深い褥瘡に対する創の洗浄、薬剤塗布、被覆などを実際に行い、外用薬の使い方を学んでいただけます。

講師：コバヤシヘルスケアシステム医療法人愛生館 小林記念病院 褥瘡ケアセンター長
古田 勝経先生

募集定員（40名）に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

また、懇親会参加希望の先生は申し込み時、そのことを明記して下さい。

参加者は白衣を持参してください。

申込み方法：FAX または E-mail（登録済みの折り返し連絡などに必要です、明記して下さい）

申込み期限：平成29年12月25日（月）

申し込み先： 宮城県薬剤師会事務局 FAX022-391-6640
E-mail info@mypha.or.jp

実務実習・懇親会参加申込書

氏名：.....

所属：.....

連絡先（FAX または E-mail）：.....

懇親会 参加 不参加
.....

注・懇親会申込後のキャンセルは参加費を徴収させていただきますので予めご了承ください。

事務局から： 月 日受付いたしました。